

『教育の魂』～『愛と信頼』を置く～

2023 年 11 月 7 日 新座市立新堀小学校の校長 若林寿先生の企画の『開校 50 周年記念音楽 & 映画鑑賞教室』（体育館に於いて）に赴いた（画像）。2 クラスの 6 年生と生徒の保護者、映画製作者、本の編集者、地域の教員も参加されていた。

第 1 部 ユーフォニューム演奏鑑賞

第 2 部 がん教育映画「がんと生きる言葉の処方箋」鑑賞

筆者は、『終わりの挨拶』の機会が与えられた。生徒に【『涙とともに パンを食べた者でなければ人生の味は分からない』（ゲーテ:1749-1832）、ゲーテを こよなく敬愛したスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ（1827-1901）の『アルプスの少女ハイジ』（『ハイジ、クララ』の『自己形成小説』）の現代的意義は、『喜んで無邪気に 小さなことに大きな愛を込める』、また『愛がなければ全ては無意味である』】とさりげなく語った。

- 1) 病気になったとき、人はどのように感じ、何を考えますか？
- 2) 家族は、どのように患者さんを支えることができますか？
- 3) 周りの人は、どのように患者さんを支えることができますか？
- 4) 人の支えは、患者さんに、どのような効果をもたらしますか？

も述べた。小学生時代からの心得であろう！

若林寿先生は、東久留米での定例の読書会【新渡戸稲造（1862-1933）著『武士道』（1899 年;矢内原忠雄訳） & 内村鑑三（1861-1930）著『代表的日本人』（1908 年;鈴木範久訳）】にも参加されている。

『過渡期日本の指導原理』、『新時代の形成力』、『指導的原動力』、『具眼の士』の学びの時でもある。『愛と信頼』を置き、『真の人の道』を導くのが、まさに、『教育の魂』である。2 作目の映画のタイトルになる予感がする。【『からし種＝どんな種よりも小さいのですが、成長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります』は、『教育の原点』であろう！】大変有意義な貴重な『新堀小学校の訪問』となった。

学校教育目標 「 学ぶ子ども 仲よくする子ども 健康な子ども はたらく子ども」



新堀小だより

10月号
令和5年9月30日発行

校長 若林 寿

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く 新堀小学校
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



コミュニティ・スクール新堀小 ～地域学校協働活動～

夏の暑さも彼岸を境に和らぎ、過ごしやすくなってきました。連日続く猛暑日からは脱出できましたが、季節の変わり目となります。引き続き体調に気を付けてお過ごしください。
さて、10月は、開校50周年記念運動会があります。運動会を機に2学期を盛り上げていきたいと思えます。運動会は参観者の入場制限はありません。たくさんの応援をお待ちしております。また、地域社会と連携した多くの取組を予定しています。日程が確定している取組について、お知らせします。参観等は自由といたしますのでよろしくお願いいたします。

『イメージングプログラム』11/13(月)

グローバル化

「東京学芸大学 授業研究ラボIMPULS」と「米国 Lesson Study Alliance」との連携
アメリカから約15名の外国人教師が新堀小学校にやってきます。

- ①児童との交流や授業参観10:50～11:25 各教室、
 - ②本校教員との合同研修会を予定しています。
- ※①の様子を公開いたします。

『CAJとの交流学习 COME』11/21(火)

グローバル化

インターナショナルスクール「クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン(CAJ)」との連携
CAJ4th 児童約30名が新堀小学校にやってきます。
3年生～6年生の児童との交流を行います。
各学年の交流の様子を公開します。

- 10:50～11:35 6年生 学校見学
- 11:40～12:25 4年生 日本の文化体験
- 12:35～13:45 5年生 給食 休み時間
- 13:50～14:35 3年生 日本の昔遊び

『2年生交流学习 GO』11/24(金)

グローバル化

2年生児童のCAJツアー(午前中) ※引率者募集

子どもたちは、学校だけでは育ちません。保護者の愛情あふれる関わりが、児童の心の安定となります。そして、地域・社会の方々等との様々な行事や活動を通しての関わりが児童の心に潤いをもたらします。ある人から教えてもらったことが力となる、ある人から褒めてもらったことが自信となる、ある人から励ましてもらったことが希望となる、そのようなことが子どもたちの学びの動機、意欲、定着となり、生きる力を育むと考えます。

彩の国教育週間 授業公開日

『保護者参加型ゲストティーチャーによる特別授業』

近年、学校においては、複雑となった現在または将来にわたる教育や社会の課題について、地域社会や専門機関との支援・協力を受けながら、家庭との連携のもとに取り組んでいく必要があると深く捉えています。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。We look to the future now!

11月7日(火)

『子どもの姿勢』 2年生児童・保護者【各教室】

- ① 9:40～1組、②10:50～2組、③11:40～3組

健康教育(ICT活用等に伴う課題)

東京有明医療大学准教授
小山 浩司 先生

『志』 5年生児童・保護者【各教室】

- ① 9:40～1組、②10:50～2組、③11:40～3組

夢を叶える方法(自己実現)

World Youth Kokorozashi 志教育プロジェクト

『絵画教室 燈明づくり』9:40～10:25【体育館】

自分らしく(個性の伸長) 3年生児童・保護者

新堀在住の画家 森 志らべ 先生(アトリエ志らべ)

『幼保小交流』10:50～11:25 1年生児童・保護者

小1プロブレム【体育館(交流会)⇒校舎案内】

こばとの森幼稚園・新堀保育園・光保育園年長組

『認知症~~やさしい~~養成講習』11:40～12:25【体育館】

認知症理解(高齢化に伴う課題) 4年生児童・保護者

西堀・新堀高齢者支援~~会~~

『開校50周年記念音楽&映画鑑賞教室』【体育館】

13:20～ 第1部 ユーフォニウム演奏鑑賞

ユーフォニウム奏者 安東 京平 先生

たんぼぼ・1年生・6年生児童・保護者

※その他の学年の保護者、地域の方も参加自由です。

13:40～15:25 第2部 映画鑑賞等

がん教育 映画「がんと生きる 言葉の処方箋」

順天堂大学名誉教授、がん哲学外来市民学会代表

樋野 興夫 先生

6年生・保護者

※その他の学年の保護者、地域の方も参加自由です。

学校説明 8:50～14:35【児童玄関前ピロティー】

○新堀小の教育活動について(TV動画・写真)



副作用はゼロ！
人生を変える「言葉の処方箋」

がん哲学外来提唱者 樋野興夫 教授
順天堂大学名誉教授、専門は病理学・腫瘍学。医学と哲学を結びつけることを考えていた経緯から2008年順天堂大学にがん哲学外来を開設。医療の現場を埋めるべく言葉の処方箋を処方し続けている。2018年日本時がん協会創立50周年大賞、日本哲学会「長寿賞」受賞。

言葉の処方箋
がんと生きる

解決は出来なくても、解消は出来る

〈あらすじ〉
がん哲学外来から発展してできたのが、がん哲学外来メディカル・カフェ。全国のカフェで講演を続ける樋野教授。樋野先生の考え方に共鳴してそれぞれにカフェを開設して元気に生きる4人の主人公たち。乳がんを経験して自分の生きる使命に気づいた女性。大病院でがん哲学外来を実践する外科医。乳がんを

体験して地域の人々と悩みを分かち合うシンクルマザー。脳腫瘍を体験した高校生は、病の子供たちのために役立ちたいとカフェを運営する。それぞれが、言葉の処方箋を投げかけあい、生きる力を作り出していく。がんに悩む人々が元気になるその瞬間、映画空間が明るく人々に語りかける。

病に苦しむ全ての 人々に贈る映画

プロデューサーからのメッセージ
至る所でがんの話題が絶えません。この作品を通して病に苦しみ、悩む全ての人々に生きる勇気と希望を感じてもらえればこの上なく幸せです。 田寺康史郎

監督：野澤和之 プロフィール
文化人類学を学んだ経験から文化社会の両端にいる人々を描いた作品が多い。代表作に在日一世を描いた「ハルコ」元ハンセン病夫婦の物語「61ha 絆」など。自らも大腸がんを体験、執念の作品となった。

お問い合わせ：がん哲学外来映画製作委員会事務局
E-mail: gantetsu@eiga2018.jp TEL: 03-5216-8918 FAX: 03-5216-8914
製作・配給：©2018 がん哲学外来映画製作委員会 HP: kotobanosyohousen.wixsite.com/website

特別協賛

共創未来グループ
東邦ホールディングス株式会社

協賛

SVENSON
FBC 福井放送株式会社

「開校 50 周年記念音楽&映画鑑賞教室」【体育館】
13:20～ 第1部 ユーフォニウム演奏鑑賞
(会場 13:10) ユーフォニウム奏者 安東 京平 先生
13:40～15:25 第2部 映画鑑賞等
がん教育 映画「がんと生きる 言葉の処方箋」
順天堂大学名誉教授、がん哲学外来市民学会代表 樋野 興夫 先生
※保護者、地域の方も参加自由です。